

## 平成 19 年度 第 7 回理事会議事抄録

日 時：平成 20 年 2 月 23 日(土) 13:00～17:30

場 所：札幌事務局

出席者：藤田 龍一(会長)、村田 和香(副会長)

伊藤 隆 菊地 啓介 佐藤 裕一 仙石 泰仁 水上 伸子 山田 毅(理事)

坂上 哲可(事務局長) 北島 久恵(書記)

加藤 恵子(財務部長)

欠席者：清水兼悦(副会長) 池田 望 柿崎貴浩 藤坂広幸 吉岡英章(理事)

### 【検討事項】

1. 平成 20 年度事業計画について(議案書参照)

1) 【調査部】の 1: 会員基本データの管理, 2: OT 協会会員管理システムの管理・運営を【総務部】へ移動する。また、今後は複数人数で管理できるような体制を整えていくこととする。 →承認

2) 【学術部】「北海道作業療法」の発刊は、平成 20 年度は学会抄録集を含めて 4 刊の発行予定とし、次年度から学会抄録集と 4 刊の発行と、移行期間を設定する。 →承認

3) 【教育部】制度改定に伴い、新人研修会を現職者共通研修に変更する。

生涯教育制度の概要を木下部長から理事に対して説明する機会を設定する。

研修会開催を維持するためにも認定作業療法士の確保が重要であり、会長裁量のポイントなどポイントの効率的な取得方法について教育部内で検討する。 →承認

4) 【広報部】[企画課] 高校生への広報活動として、夏期に見学可能な受け入れ施設の名簿を北海道教育委員会にて提出する案について検討する →承認

5) 【広報部】[企画課] 広報用リーフレットについて、一般向け啓発用リーフレット、コメディカル向け士会活動周知用リーフレットの他に、一般向け教育用パンフレットを作成することとし、議案書に一般向け教育用パンフレットを追記する。 →承認

6) 【事業部】今年度は、「市民公開講座」について調査・検討、障がい者を対象とした支援事業の検討に留まる。また患者属性の OT 研修会の開催はコンコースでのイベントと重なるため、学会時ではなく別時期開催とする予定になる。 →承認

7) 【事業部】既存事業の見直しとして、いきいき福祉フェア(平成 20 年 10 月 17～19 日: アクセス札幌)について、事業部主催で参画していたが、札幌支部担当に移行する。事業部はノウハウなどを伝達し、サポートする体制をとる。 →承認

8) 【特設委員会】[白書委員会] 藤坂委員長のもと、福利部、調査部の部員を参集し進行していく予定である。前回は、学生がデータ入力していたが、会員数の増加のため業者依頼とする(正式な見積もりを依頼中)。また、白書の発行は次年度になる予定である。 →承認

9) 平成 20 年度支部連絡協議会所有の備品請求について、ノート PC 4 台(十勝, 道南, 道北, 根釧), スキャナ 2 台(十勝, 道南), プロジェクター 1 台(道北), デジタルカメラ 1 台(網走)の申請を認める。 →承認

10) 学会の地方開催について、現実的に(会場や人員の確保など)開催の可否について、学会評議委員会が各支部に調査を行い、その情報を基に企画調整委員会にて分析を進める。担当の池田理事に士会から依頼する形をとる。 →承認

11) 支部連絡協議会の活動計画および予算案は、これまで全ての支部をまとめて記載していたが、今年度から各支部で提出してもらい、議案書に添付する。 →承認

2. 平成 20 年度事業予算について(予算案参照)

1) [収入の部] 事業収入のその他の収入としてニュース求人広告が減少している。次回の理事会までに具体的な数字を提示する。依然として会費未納者がおり、催促の連絡を行う。

2) [定期積立残高] OA 機器入れ替えに伴う経費として OA 積立金(仮称), 名簿作成積立金(仮称)で名称の確認と特別会計処理規程の作成を事務局にて行う。

3) [支出の部]

①平成 20 年度の変更点の確認: 【総務部・財務部】, 【調査部】, 【保険部】 【支部連絡協議会】

②予算案の再提出: 【広報部: 広報課】紙代・送料の確認, 【広報部: 企画課】リーフレット作成に伴う印刷製本費, 【事業部】事業の調査と実施を明確に区別

③ 予算未提出のため次回提出：【教育部】【学会評議委員会】【規約検討委員会】【40周年記念委員会】

- ・②と③について各部局にて確認し次回理事会で最終決定することとする →承認

4) [第39回北海道作業療法学会(千歳学会)予算案]

学会参加費の非会員の金額設定について、ガイドラインに従うと学会実行委員会の裁量となっはいるが、会員のメリットと非会員のデメリットを強調するためにも、理事会から学会に依頼という形で、会員5000円に対し非会員10000円という設定を提案する。 →承認

5) その他、議案書の資料1～4については、記載内容に修正事項がある場合に連絡をすることとする。

→承認

3. 広域支援センターで活動しているOTのサポートについて

以下の点について、菊地理事より報告

- ・地域リハビリテーション広域支援センター未整備圏域の状況報告
- ・道補助金の終了した地域リハビリテーション広域支援センターの活動状況報告
- ・北海道医療計画における「脳卒中の医療連携体制」素案について
- ・札幌市脳卒中地域連携パスネット協議会の設立動向について
- ・脳卒中の医療連携における地域リハビリテーション広域支援センター事業の役割について

<地域連携パスについて>

北海道医療計画の中に、医療連携のツールとして「地域連携パス」制度が導入され、診療報酬として点数化されている。現時点では急性期から回復期までの治療的意味合いが強い「地域連携パス」が提案されているが、今後、維持期などでも導入する見通しとなると考えられる。士会としても「地域リハビリテーション」にOTという専門職が関与し続けるためにも、動向を確認し、介入する余地を検討する必要がある。

- ・企画調整委員会にて、菊地理事が詳細な内容を説明し、人選を含めて「地域連携パス」についての取り組みについて検討
- ・「地域リハビリテーション」についての道士会の窓口を作り、担当理事である菊地氏が担当する人材を選出する。
- ・上記の件について、予算化する必要がある項目は早急に行う。

→継続審議

3. その他

1) 災害対策マニュアルの採用について

実行性や運用面については三役にて検討する。

→承認

→継続審議

【各部局報告】

<三役会>

- ・総会議案書の校正
- ・北海道難病医療体制連絡協議会委員の選出；清水副会長
- ・北海道リハビリテーション支援センター代表者会議報告

<総務部>

- ・北海道保健福祉部福祉局障害者保健福祉課「発達障がい児(者)支援を考える道民フォーラム(2/17)」開催案内(1/28)；HP掲載
- ・苫小牧リハビリテーション研究会「第35回苫小牧リハビリテーション研究会 講演会(3/18)」後援依頼(2/8)；承諾

【出版物・報告関係】

- ・(社)日本作業療法士協会「リハビリテーションの効果的な実施に関する検討事項、リハビリテーション専門職種の人材確保協会モデル事業報告書」(1/28)
- ・北海道保健福祉部保健医療局健康推進課「平成18年度保健福祉事務所理学療法士・作業療法士実践報告集」(1/30)
- ・北海道保健福祉部福祉局高齢者保健福祉課「北海道地域ケア体制整備構想(素案)についての意見募集結果報告」(2/1)

- ・(社)北海道社会福祉士会「第3会通常総会議案書」(2/18)
- ・(社)長野県作業療法士会「第24回長野県作業療法士学会抄録集」(2/21)

【事業】

- ・名簿作成；2月校正、3月印刷、4月発送
- ・パート事務員採用；遠山 節子（恵庭市在住）仮採用2月～ 本採用4月～

<渉外部>

- ・(社)日本作業療法士協会「19年度士会現況調査に対する調査協力依頼」(12/20)；1/31返信
- ・(社)北海道歯科技工士会「新春の集い‘2008(2/2土)’案内(12/18)；会長出席
- ・北海道リハビリテーション支援センター「平成19年度地域リハビリテーション・広域支援センター推進会議の代表者会議(2/17)及び第5回北海道地域リハビリテーション支援センター研修会(2/16)」；村田副会長出席
- ・学校法人専門学校北海道リハビリテーション大学校「平成19年度卒業式および卒業記念祝賀会(3/6)」案内(1/30)；欠席、祝電
- ・北海道千歳リハビリテーション学院「平成19年度卒業・修了証書授与式(3/10)」案内(2/12)；欠席、祝電
- ・北都保健福祉専門学校「平成19年度卒業式および卒業記念祝賀会(3/9)」案内(2/15)；欠席、祝電
- ・北海道保健福祉部保健医療局健康推進課「北海道難病医療体制連絡会議(3/8)」出席依頼(2/18)；検討(資料1)
- ・日本福祉リハビリテーション学院「平成19年度卒業・修了証書授与式(3/14)」案内(2/19)；欠席、祝電

<財務部>

- ・平成20年度予算・平成19年度決算書作成

<調査部>

- ・1,738名 新入会員：4名 退会者2名

<広報部>

- ・士会ニュース平成20年2月号発刊；3月上旬発送
- ・UHB「石井ちゃんが行く」放送が終了し、2週後にHPで閲覧可能。事務局でデータ保管可能か確認

<保険部>

- ・診療報酬改訂情報のホームページ掲載(2/16)
- ・診療報酬改定概要の作成；ニュースに同封(資料2)
- ・診療報酬改定に伴うQ&A窓口の設置
- ・診療報酬についてのパブリックコメントを会員に別刷りで報告する（事務局）  
座談会開催予定

→承認

<学術部>

- ・機関誌の発行は4月の予定。

<その他の部局、委員会報告>

- ・各部局新年度計画及び予算の作成